

## 令和3年度の研究について

**研究主題** 幼児期にふさわしい生活の在り方を求めて (市立幼稚園、認定こども園共通)

幼児期の教育・保育では、幼児が主体的に環境と関わり、充実感や満足感を味わうことができる生活や友達と十分に関わって展開する生活の重要性から、札幌市の研究実践園では、上記の研究主題を共通で設定し、研究を進めています。

**研究副主題** (認定こども園にじいろの教育課題に応じた研究主題)

### やってみよう！の気持ちが続く環境構成と援助

遊びを通して、主体的・対話的で深い学びの充実が大切です。

具体的にはどうということ？これまでの研究から、認定こども園にじいろではこんな姿だと考えています。

主体的って？

「どうして？」  
身近な環境や人に興味をもって関わる



「これがしたい」  
やりたいことを見つける



「失敗しても大丈夫！」  
見直しをもって振り返り、次につなげる

対話的って？



「これが好き」  
物との対話

「楽しいね」  
保育者との対話



「その考えいいね！」  
友達との対話  
思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりする

深い学びって？



気付きや経験を生かしながら、  
試行錯誤する

主体的・対話的で深い学びの充実のために、どうしたらよいか？職員間で話し合いました。



**継続**

またやりたい！

**発展**

今度はこうしてみよう！

☆この2点に注目して、  
今年度は検証していきます。

#### ◎研究方法

- ・職員で園内研修を行いながら、保育内容や環境の見直しを行います。
- ・遊びの様子を記録しながら、振り返りを行う「エピソード検討」を行います。
- ・園庭、ホールなど、遊びを残すことができる環境作りを行います。



今後、研究便りやにじいろ通信、ホームページなど、保護者の方や地域の方々、関係諸機関に向けて、研究の経過や成果を発信していきます。